

総説 (雑誌)

●平成16年度 (2004.4~2005.3) ●

- 1) 小児科医と骨系統疾患 大藺恵一
大阪小児科医会会報, 128 : 12-15, 2004.
- 2) 小児の低リン血症 大藺恵一
日本醫事新報, 4169 : 105, 2004.
- 3) 成長異常に関する最近の話題 大藺恵一
大阪小児科医会会報, 130 : 18-21, 2004.
- 4) 骨粗鬆症と遺伝子多型 大藺恵一
内分泌・糖尿病科, 19 (4) : 375-381, 2004.
- 5) ビタミンD代謝の調節機構 山形雅代, 大藺恵一
ホルモンと臨床, 52 : 13-18, 2004.
- 6) ビタミンD—ビタミンDの代謝調節と作用機序 難波範行, 大藺恵一
メディチーナ, 41 (13) : 1974-1976, 2004.
- 7) クル病, 骨軟化症の病態と治療 山本威久※, 大藺恵一
メディチーナ, 41 (13) : 2064-2068, 2004.
- 8) 骨系統疾患診断のすすめかた : 入門編 大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 46-52, 2004.
- 9) Diastrophic dysplasia group捻曲性骨異形成症候群—概説 大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 101-103, 2004.
- 10) Dysplasias with defective mineralization骨石灰化障害を伴う骨異形成症—概説 大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 206-209, 2004.
- 11) Osteopetrosis大理石骨病 道上敏美※, 大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 390-394, 2004.
- 12) G protein disease Gタンパク質病 山本威久※, 大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 418-423, 2004.
- 13) Infantile cortical hyperostosis (Caffey disease) : 乳児皮質骨増殖症 三善陽子, 中島滋郎,
大藺恵一
小児内科増刊号, 36 : 443-445, 2004.

- 14) 生理的石灰化と病的石灰化・Review 酵素を中心とした石灰化の調節 窪田拓生, 大藺恵一
Clinical Calcium, 14 (6) : 869-873, 2004.
- 15) 肝細胞腫の治療 原 純一
小児科診療, 67 (4) : 627-632, 2004.
- 16) シスプラチン使用の化学療法時に乳酸加リンゲル液による輸液とCa,Mg補充の同時投与は必要か—
必要とする立場から 橋井佳子
医学のあゆみ, 209 (5) : 316-318, 2004.
- 17) そこが知りたい小児の肝・胆道疾患:CMVによる肝障害の特徴は? 恵谷ゆり
小児内科, 36 : 1342-43, 2004.
- 18) C型肝炎ウイルスの母子感染症例の自然経過 三善陽子, 恵谷ゆり, 虫明聡太郎, 田尻 仁※, 大藺恵一
日本臨床増刊号, 62 (7) : 279-282, 2004.
- 19) 消化器薬 膵疾患用薬 小林尚弥, 虫明聡太郎
小児科診療, 67 増刊号 : 201-206, 2004.
- 20) イラストでわかる新生児の疾患・治療・ケア 和田和子
Neonatal Care 2005年春季増刊 : 166-169, 2005.
- 21) 新生児集中治療の成績 和田和子
ハイリスク新生児の臨床, 5 : 561-568.
- 22) 亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) —小児疾患と脳波 沖永剛志, 青天目信, 神尾範子, 今井克美
臨床脳波, 46 (4) : 237-243, 2004.
- 23) 小児における大脳皮質形成異常の脳波 今井克美, 沖永剛志, 神尾範子, 青天目信, 永井利三郎
臨床脳波, 46 (5) : 298-305, 2004.
- 24) グルコーストランスポーター1 (Glut-1) 異常症 —ケトン食により本質的治療が可能なたんかん—
柳原恵子※, 真野利之※, 下野九理子, 神尾範子, 山田 穰※, 柳原 格※, 今井克美
臨床脳波, 46 (8) : 513-518, 2004.
- 25) 多発性硬化症 —特集 脳炎, 脳症, 髄膜炎— 中枢神経の感染・炎症・免疫 沖永剛志, 永井利三郎
小児内科, 36 (7) : 1150-1153, 2004.
- 26) インフルエンザワクチンの接種回数と有効性 指原淳志, 山岸義晃, 大藺恵一
小児科, 45 (9) : 1529-1536, 2004.